

薬剤情報における本番環境接続確認のポイント

- ・2021年8月11日（水）より薬剤情報の本番環境と接続確認が可能となります。

【本番環境開放における目的】

本年10月からの本格運用に先立ち、2021年8月11日より電子カルテ端末や調剤システム端末等から本番環境と接続確認を実施いただき、ネットワークや端末が正しく設定されているかをご確認いただくことが可能となります。

※今回の本番環境接続確認は必須ではございません。医療機関・薬局等の導入作業等で適宜ご活用ください。

※患者の薬剤情報は、未登録のため閲覧できません。実際に患者の薬剤情報が閲覧可能となるのは、2021年10月（2021年9月診療分）からを予定しております。閲覧開始前までに薬剤情報の閲覧について動作確認される場合は、従来どおり接続検証環境をご活用ください。

※医療情報閲覧端末での接続確認は対象外となります。準備でき次第改めて周知いたします。

薬剤情報における本番環境接続確認のポイント

ステップ 1

「薬剤情報の本番環境接続確認実施に向けた前提条件」
・以下の作業が完了していることを確認してください。

- ❑ 電子カルテ、調剤システム等において、薬剤情報を閲覧するための用意が整っていること。
- ❑ 「医療機関等向けセットアップ手順書（資格確認端末編）」が完了していること。
※WebAPI連携のみで動作確認される場合は、必須ではありません。

ステップ 2

「医療機関等向け操作マニュアル(管理者編) 第3章-3 画面項目説明」を参照し、本番環境の「薬剤情報」の設定値が「利用する」となっているか確認してください。

<ご注意> 薬剤情報の閲覧開始時期について

本番環境における薬剤情報の閲覧開始時期は、2021年10月以降を予定しています。

閲覧開始までは患者本人から薬剤情報の閲覧同意は取得することはできません。

※本番環境で閲覧同意の利用有無（情報の利用有無）の薬剤情報を「利用する」に設定いただいても、マイナンバーカードを利用した資格確認（顔認証付きカードリーダー等）において、薬剤情報の閲覧同意を確認する画面（項目）は表示されません。

薬剤情報における本番環境接続確認のポイント

ステップ3：本番環境にて、下記接続確認方法と結果を確認してください。

【接続確認方法】

- ❑ 電子カルテ/調剤システムから連携アプリケーションもしくはWebAPIの薬剤情報閲覧機能（※1）に対して、薬剤情報の閲覧要求を実施し、結果を確認してください。

※1「別紙2-2_外部インターフェース一覧（薬剤・特定健診情報(WebAPI)）」を参照

※前頁「<ご注意> 薬剤情報の閲覧開始時期について」に記載の通り、患者の閲覧同意はできません。本来、同意確認後に要求頂くようご案内しておりますが、今回のテストにおいては同意取得なく要求頂いて問題ございません。

【結果】

- ❑ 「**YZKO1002E：【エラー】閲覧同意情報が存在しません。**」が返却されていることが確認できれば問題なし。

※「YZKO1002E 【エラー】閲覧同意情報が存在しません。」以外が返却された場合、下記の課題についてご確認ください。

★課題

- ①入力エラー（YZKO1004E～YZKO1013E）… 要求ファイルの設定誤りの可能性あり。

⇒外部インターフェース仕様書に準拠しているか確認し、要求データを修正の上、再度閲覧要求を実施してください。

※本番環境への疎通は問題ございません。

- ②資格なしエラー（YZKO1000E）… オンライン資格確認システムに該当する資格情報が存在しない可能性あり。

⇒閲覧要求に使用した情報で資格が取得できることをご確認ください。なお、枝番を設定していない場合は、当エラーが発生します。（後期高齢者医療保険制度を除く）

詳細は医療機関等ONS掲載の「【周知】特定健診情報及び薬剤情報取得要求について」を参照してください。

https://vendorons.service-now.com/sp?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0010789

※本番環境への疎通は問題ございません。

- ③上記以外エラーまたは結果が返却されない場合 … その他のセットアップ作業におけるエラーの可能性あり。

⇒「医療機関等向けセットアップ手順書_別紙トラブルシューティング」を参照の上、原因調査・対処を実施してください。